

〈聖書のみことば〉

ルカによる福音書
第8章4～15節

大勢の群衆が集まり、方々の町から人々がそばに
来たので、イエスはたとえを用いてお話しになった。

「種を蒔く人が種蒔きに出て行った。蒔いている
間に、ある種は道端に落ち、人に踏みつけられ、空
の鳥が食べてしまった。ほかの種は石地に落ち、芽
は出たが、水気がないので枯れてしまった。ほかの
種は茨の中に落ち、茨も一緒に伸びて、押しつぶさ
ってしまった。また、ほかの種は良い土地に落ち、
生え出て、百倍の実を結んだ。」イエスはこのよう
に話して、「聞く耳のある者は聞きなさい」と大声
で言われた。

弟子たちは、このたとえはどんな意味かと尋ねた。
イエスは言われた。「あなたがたには神の国の秘密
を悟ることが許されているが、他の人々にはたとえ
を用いて話すのだ。それは、『彼らが見ても見えず、
聞いても理解できない』ようになるためである。」

「このたとえの意味はこうである。種は神の言葉
である。道端のものとは、御言葉を聞くが、信じて
救われることのないように、後から悪魔が来て、そ
の心から御言葉を奪い去る人たちである。石地のも
のとは、御言葉を聞くと喜んで受け入れるが、根が
ないので、しばらくは信じて、試練に遭うと身を
引いてしまう人たちのことである。そして、茨の中
に落ちたのは、御言葉を聞くが、途中で人生の思い
煩いや富や快樂に覆いふさがれて、実を熟するまで
に至らない人たちである。良い土地に落ちたのは、
立派な善い心で御言葉を聞き、よく守り、忍耐して
実を結ぶ人たちである。」